

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	公園課長	田沼 滋哉
都整-34 樹林維持管理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	公園課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	みどり	施策の方針	緑の保全等

1 事業の目的

対象	市民等
意図	良好な状態の樹林地を保育しようとするため。
効果	樹木の健全な育成と生態系を含む豊かなみどり空間を市民に提供する。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 対象樹林地を6分割し、毎年度1地区ずつ順番に、枝払いや枯損木・倒木の処理、除間伐などの業務を委託した。 平成27年度は、八幡宮(二階堂全域、西御門全域、雪ノ下一・二丁目)地区を実施した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	10,854	9,190		当初予算(千円)	12,852		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	10,854	9,190		一般財源	12,852		
事業運営	人員配置数	0.7	0.7		人員配置数	0.7		
	人件費(千円)	5,284	5,345		人件費(千円)	5,415		
	総事業費(千円)	16,138	14,535		総事業費(千円)	18,267		
	市民1人当りの経費(円)	91	82		市民1人当りの経費(円)	103		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	昭和63年から古都保存法等の法令で指定されて一定の土地利用が規制されている区域の樹林については、土地所有者への支援として、より適正な管理を行うことを目的に樹林管理事業を実施している。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		現状において、住民からの申請の全てに対応できていない状況であるが、包括予算を前提に考えると適正な財源確保策がないことから、現状維持としたい。		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	住民からの申請全てに対応できていない状況であるが、財源確保策が見出せない状況にあり、現状維持とする。
-------------------	--

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	申請件数によっては、全てに対応できない場合がある。 古都保存法等の法規制の範囲を6地区に分けて順次実施しており、即応できる体制になっていない。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	できる限り申請者と現地で立会い、優先順位を付けて実施した。 国・県への財源確保の要望(みどり課)	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	最近では対象地区の中での最優先箇所の対応に終始しており、維持管理の実施ができていない箇所がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	全6地区(6年サイクル)における各年度(地区)の有効申請件数に対する達成率						単位	%	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
家屋等に損害を及ぼす恐れのある危険な樹木は市民の日常生活の支障となるため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
	実績値	82.7	87.9								
	達成率	82.7%	87.9%								
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	鎌倉地域を6地区に分けて順番に事業を進めているため、各年度の達成率を単純に比較することはできない。 ※26年度は「佐助・御成地区:81件中、67件を実施」、27年度は「八幡宮地区:58件中、51件を実施」となっている。										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---